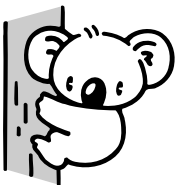


伊奈町立中学校生徒

海外派遣事業報告



7月20日から8月2日まで、町内中学校から男女各1名ずつ計6名の生徒と2名の引率教職員をオーストラリアへ派遣しました。

この事業は、人材育成事業の一環として、伊奈学園総合高等学校の海外交流事業に合流し、「伊奈町中高合同海外派遣団」として実施しているものです。

参加した生徒と引率者に、オーストラリアで過ごした感想を聞きました。



黒河 祐哉さん
(伊奈中)

オーストラリアで僕は、様々なことを学んできました。最初は不安があったものの、オーストラリアの人々がとても友好的だったので、不安はなくなりとても楽しく過ごすことができました。また、見たこともない鳥や虫、植物も見ることができ、とても感動しました。ホストファミリーの方々も、僕のためにわからない英語を紙に書いてくれたりして、とても親切な対応をしてくれました。

今回、このような素晴らしい機会を与えてくださった方々、そして、お世話になった方々に心から感謝をしています。本当にありがとうございました。



英語の授業風景



川 由姫さん
(小針中)

このオーストラリア派遣は、私に夢と感動を与えてくれました。ホストファミリーと本当の家族のように生活し、ホストファミリーと深い絆で結ばれ、学校では新しい友達をたくさんつくり、「アッ!」と言う間の2週間だったけど、日本ではできないことをたくさん体験して本当に充実した毎日を送ることが



相澤 裕さん
(南中)

オーストラリアでの2週間はとても充実していて、その中でいろいろなることを学べ

海外派遣団を引率して

小針中学校 校長
白田 勝美氏

第18回オーストラリア友好相互交流事業(第14回伊奈町中高合同海外派遣団)の生徒引率として、7月20日から8月2日までの14日間、オーストラリア連邦クイーンズランド州ゴールドコースト市クンバーバ・ステイトハイスクール等を訪問してきました。当初の目的を果たして全員無事帰国できましたことは、引率者として何よりの成果であったと考えます。

研修先のクンバーバ・ステイトハイスクールは、生徒数約1,100人、教職員数98人の大規模校です。世界73か国・地域から生徒と教職員を受け入れており、この学校自体がまさにオーストラリアそ



全員で記念撮影

のもです。異質と同質を考えることが文化理解の基本とすれば、国際交流と友好親善に理想的な場といえます。

授業以外にも、ムービーワールドへの遠足、海難救助講習を兼ねたビーチ遠足も行いました。また、今回は初めてアランドル・プライマリースクールを訪問し、小学生との交流も実現しました。

サヨナラパーティーでの「さくら」の合唱、ホストファミリーとの涙の別れがこの研修の全てを象徴していたように思えます。「百聞は一見

